

令和5年度 地理探究 I (3 学年) シラバス

教科名	地理歴史科	科目名	地理 B	単 位	2 単位	
使 用 教科書	新詳地理 B 初訂版 (帝国書院) 新詳高等地図 初訂版 (帝国書院)		学 科・学 年・学 級		3 年 5 ・ 6 ・ 7 組 (国英科)	
副教材	新詳地理資料コンプリート (帝国書院) ウィニングコンパス地理の整理と演習 (とうほう)					

1、学習目標及び評価

学習の到達目標	使用教科書・副教材等
① 自然環境、資源・産業、都市・村落、生活文化等を通して現代世界の特色を探る。 ② 現代の世界を地域 (市町村規模、国家規模、州・大陸規模) を通して学ぶ。 ③ 現代世界の諸課題 (国家間、日本の近隣諸国、環境・エネルギー問題、人口・食料問題、居住・都市問題、民族・領土問題) を理解する。 ④ 地理という学習 (教科) が世界を捉えるうえで重要であることを理解するとともに、世界の諸問題に対して考え、自分の意見を述べる力を身につける。	① 教科書名 新詳地理 B 新詳高等地図 (帝国書院) ② 副教材 新詳地理資料COMPLETE2022 (帝国書院) ウィニングコンパス地理の整理と演習 (東京法令出版) 地理統計 (帝国書院)

評価の観点の趣旨

1 知識・技能	2 思考・判断・表現	3 意欲・態度
日本を含む世界の生活と文化の地域的特色についての基本的な事柄を理解し、知識を身につけているか。	地理的事象を世界的視野に立って多角的、多面的に考察しているか。国際社会の変化に的確に対応し、公正に判断しているか。	地理的事象について関心を持っているか。また、課題意識をもち、意欲的に追求しているか。

2、学習計画及び評価規準・評価方法

月	配当 時数	単 元 学習項目	学習の目標及び評価規準	評価の観点			評価方法
				1	2	3	
4	8	・オリエンテーション 第1部地理情報と地図 第2部自然環境 1 世界の地形	・オリエンテーション ・地形図を基本的によむことができる。 ・世界の大地形について理解する。	○	○	○	プリント確認 行動観察 質問紙 確認テスト
5	5	2 世界の気候 3 環境問題	・世界の気候の成り立ちと特徴を理解する。 ・世界各地の植生と土壌について理解する。	○	○		確認テスト プリント確認
	5	第3部資源と産業 1 農林水産業 2 世界のエネルギー	・世界の農産物の流通や農業・林業・水産業について、地図を利用しながら理解をする。	○	○	○	1 学期中間考査
6	7	3 世界の工業 4 第三次産業	・主要工業の特徴と立地条件について理解する。 ・世界の第三次産業の発展と日本の観光産業の特徴を理解する。	○	○	○	プリント確認 行動観察 確認テスト 1 学期期末考査
7	5	第4部人口・村落・都市 1 村落と都市	・村落と都市を比較し、その機能や生活様式について理解する。	○		○	プリント確認 行動観察 小テスト

	5	2 民族と宗教 3 領土問題	・様々な地域と国を例に民族・宗教について、民族・宗教とは何か、生活とどのようにかかわっているかに関する考察する。	○	○		自己評価 授業評価
9	3	第5 現代世界の諸地域 1 東アジア	・中国の動向と日本、韓国の産業、隣国との交流を項目ごとに整理し、考察する。	○	○		確認テスト 行動観察 プリント確認
	4	2 東南アジア 3 南アジア	・ASEAN 諸国の変化と諸課題という多様な事象を項目ごとに整理して考察する。 ・インドの農業と農村、工業・IT産業について理解する。	○		○	2 学期中間考査
10	4	4 中央アジア・西アジア 5 アフリカ	・西アジアと中央アジアのイスラームの生活文化、交易と都市、資源と産業を比較して考察する。 ・北アフリカとサハラ以南のアフリカについて、一次産品への依存等を考察させる。	○	○	○	プリント確認 確認テスト 質問紙 行動観察
	4	6 ヨーロッパ 7 ロシア	・これからのヨーロッパという多様な事象を項目ごとに整理して静態的に考察する。	○		○	
11	4	8 アングロアメリカ	・アングロアメリカについて、多様な事象を項目ごとに整理して考察する。		○	○	プリント確認 行動観察 2 学期期末考査
	4	9 ラテンアメリカ	・ラテンアメリカの自然環境、文化、大土地所有制と農業の変化、工業化と生活の変化を理解する	○	○	○	問題分析シート 自己分析シート
12	2	10 オセアニア	・アジア諸国に輸出される農畜産物や資源に関連づけてオセアニアについて理解し考察する。	○	○	○	問題分析シート 自己分析シート
12 1	8	地理の総復習	・大学入学試験に備えて演習問題を実施する				

3、授業の進め方

- (1) 各担当が作成した資料を基に授業を進める。ファイルなどを使用する。
- (2) 授業の前に教科書、資料集などを使用して予習する。

4、学習上の留意点

- (1) 系統地誌における語句の意味などを理解すること。
- (2) 様々な地理情報を組み合わせ地理的思考を用いて考察し、現代における諸問題を考察できるようにすること。